

天真爛漫



令和5年7月7日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第6号
文責：仁平 博幸

当たり前が一番難しい

「おはようございます！」

朝、子どもたちの登校の様子を校舎の外で立って見ていると、登校班で来る子どもたちが遠くから私を見つけ、こちらに届くように大きな声で挨拶してくれます。そして近くまで来るともう一度、

「おはようございます。」

と、今度は丁寧に挨拶をします。中にはお辞儀をして通る子もいます。



また、学校西の新しくできた横断歩道を渡る班の多くが、横断歩道を渡り終わった後、止まっていた車にペコリとお辞儀をします。

4月からの子どもたちの登校の様子でとても感心していることが、この「挨拶」です。遠くからも近くでも素敵なお辞儀ができる子が多く、また、横断後に止まっていた車にお礼のお辞儀ができる子も多いこと、本当にうれしく思っています。同時に、これまで子どもたちに声をかけ指導してきた先生方や、見守っていただいたり認めほめていただいたりした保護者や地域のみなさまに感謝しています。

さて、本校では、「凡事徹底」ということで、次のことが「当たり前」になるように指導しています。

本校の「凡事徹底」

まず、「3つの『あ』」(あんぜん「安全」・あいさつ「挨拶」・あとしまつ「後始末」)

- ①安全 …登下校、廊下の歩行、元気に遊ぶ など
 - ②挨拶 …校内でのあいさつ、地域の方へのあいさつ など
 - ③後始末 …靴そろえ、トイレのスリッパそろえ、作業後の後片付け など
- その他
- ④姿勢 …授業中の書く・読む時の姿勢 など
 - ⑤言葉遣い…時と場に応じた言葉遣い、安心できる言葉遣い など



「凡事徹底」とは「何か特別なことではない平凡なことでも、それを忘れず継続して続けていくと、それがやがて特別なことになる」と捉えて指導をしています。

本校の「凡事」はどれも、小さいうちに身に付けさせたいことがらだと思っています。

挨拶の他、靴そろえ（後始末）も、挨拶同様よくできていると感じています。ご家庭でも挨拶や靴そろえについて声をかけていただければありがたいです。

さて、ご存じの方も多いかもしれません、NHKのテレビ番組に「プロフェッショナル 仕事の流儀」というものがあります。これは、一流の職業人（プロフェッショナル）に密着し、仕事の内容やその人の仕事や生き方についての思いや考えなどを紹介していくドキュメンタリー番組です。

その番組で、以前に、パティシエ（菓子職人）の世界コンクールで日本人として初のグランプリを受賞した杉野 英実（すぎの ひでみ）さんという方を取り上げた回がありました。

杉野さんは菓子作りで、細かい作業の繰り返しとその作業内容の確認を大切にしていて、「味を飛躍的に高めるための裏技などない」と言います。そして、「おいしいお菓子を作るためには、地道な作業を手を抜かずにやるのが必要で、例えば、お菓子の飾り付けに使う木いちごは、一粒ずつ、状態を確認し、熟していないものや傷んでいるものは絶対に使わない、また素材をチェックすることの他にも、お菓子の焼き時間を秒単位で守る、お菓子に入れるお酒の量をグラム単位で守るなど、言葉にすればどちらもお菓子作りには欠かせない、当たり前のことを行なうことが大切だ」と語ります。でも、「毎日たくさんのお菓子を作り続ける厨房で、ひとつも手を抜かずに完璧に貫けるかどうか。実はそれが一番難しいのです。」杉野さんはこのように「当たり前が一番難しい」とお話ししていました。

この番組を先日改めて見て、当たり前にしたいこと、すなわち「凡事」を身に付けること、そして続けていくことはとても難しく、我々が本気になって声をかけ、ほめて伸ばしていくことが必要なんだと思いました。

今できていることも「当たり前」と思わず、声をかけ、認め励まし続けていくことで、それが「特別」になっていく。その「特別」が、押上小学校の特色になっていくと思います。

上記の「凡事」を大切に指導し、子どもたちが安心して、気持ちよく学習・生活できるようにしていきたいと思っておりますので、ご家庭でもどうぞご協力をよろしくお願ひいたします。（仁平博幸）

◎6月の学校の様子をご紹介します。

6月2日（金）

○避難訓練・引き渡し訓練

災害発生時を想定して避難と引き渡しの訓練を行いました。引き渡しあ世話になりました。



6月13日（火）

○陸上記録会（5・6年）

自分の記録に挑戦。高学年のがんばる姿に感動しました。



6月5日（月）

○農園活動

1～4年生が農園にサツマイモの苗を植えました。秋の収穫が楽しみです。



6月6日（火）

○プール清掃（5・6年）

自分たちで使うプールを高学年児童が協力して清掃を行いました。



6月15日（木）～30日（金）

○教育相談週間

一人一人子どもたちと向き合う大切な時間です。



6月20日（火）

○4年遠足（那須方面）

那須の山々を肌で感じ、物作りなどの体験を行いました。



6月4日（日）○PTA環境活動

保護者のみなさまご協力いただきありがとうございました。



※3日には消防団の皆様にご協力いただき
プール清掃も実施しました。ありがとうございました。
清掃の仕上げは上記のとおり6日に
子どもたちが行いました。

「押小のお宝」認定第3号《松の実賞》

今回の「押小のお宝」は「松の実賞」です。

この「松の実賞」は子どもたちのよさを表彰するもので、一人一人のよさを認め、育て、伸ばすこと、そして自己実現の喜びを経験させ、自尊感情を高める目的で行っています。年間に全児童を表彰します。これは「どの子にもその子ならではのよさがある」という考え方で実施しているものです。

私が以前に勤めていた約30年前にも実施されていた、歴史ある、本校の特色ある活動で、まさに本校が「一人一人が主人公の学校」であるためになくてはならない表彰です。

（※年6回表彰があり、7月5日に2回目の表彰を行いました。）



押上小がこんな学校に…

「一人一人が主人公の学校」

「みんなが幸せを感じる学校」

「『また明日ね』と笑顔で帰れる学校」

※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

押上小学校



で検索。

